

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 3 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900341		
法人名	社会福祉法人 三誓会		
事業所名	あやめが丘グループホーム		
所在地	広島県三原市惣定66番308 (電話) 0848-86-1211		
自己評価作成日	令和3年3月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490900341-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490900341-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年3月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

基本理念に掲げた、「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」の気持ちを大切にしケアに取り組んでいます。家庭的な環境の中で無理なくゆったりとした時間が過ごせ、入居者と職員の関係がご家族様に少しでも近づき、笑いの絶えない生活が送れるよう支援しています。また、近隣の一般ボランティアや学校や子供園との交流も年々関わりが深まり、行事など事あるごとに参加して下さり子供園とは互いに行き来しながらふれあい交流の場を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍による自粛はあるが、最近の特徴的な取り組みとして第一に「出会い」「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。事業所では現在のコロナ禍による面会制限下の中、オンラインでの面会、相談室で感染対策のもと、10分の予約制面会を実施している。第二に「助け合い」「本人と共に過ごし支えあう関係」に深化が見られる。閉じこもりがちな生活の中、レクリエーションを午前から午後にも拡充し、道具作りから始める、或いは全身を使ったアイデア満載の「遊びリテーション」を工夫して「笑顔あふれる瞬間」の創出に努めている。第三に「ふれあい」「日常的な外出支援」に深化が見られる。隣接子ども園の子ども達との朝の挨拶や運動会・茶会・ハロウィン等、園内季節行事を通しての日常的な世代間交流を行っている。

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいる。	開設時に前管理者が策定した理念を事業所内に掲示、又職員の名札裏面に明記し実践上の立ち返るべき原点として位置付けている。「あい」ある関係性を対利用者のみならず職員間にも築く事を理念とし、それに沿って各ユニットで年間目標を策定し、課題が生じた都度、検討し理念の達成度を評価・検証している。	開設から7年を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、事業計画も踏まえて分かり易い具体的な年間目標(事業所・職員)を設定し、定期的に達成度を評価して記録に残す案等、検証過程を「可視化」することで職員間の認識を共有化し理念の深化・定着に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所の行事等をお知らせし、ボランティアの慰問のお願いを行い、交流を深めるよう努めている。	現在はコロナ禍により外出自粛中だが、本来は日頃から近隣へ買い物等出かけたり、公民館の料理教室等、地域行事にも参加している。地域住民に事業所主催の夏祭り参加案内や歌等のボランティアの受入れ等、相互交流もある。又、隣接こども園との交流や近隣技術高校から福祉実習等、世代間交流も行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	民生委員さんを通じ地域の方々へ発信していただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っている。	最近の会議は8・10月開催分を除きコロナ禍により書面による事前照会だが、本来は定期的に開催され、民生委員・市担当課職員、時に家族他が参加していた。会議では事業所の活動報告・意見交換が行われ欠席家族には議事録を送り情報共有している。意見交換により認定調査に関し市から支援を得た例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施設の状況を把握していただいている。	コロナ禍前は市担当課職員が運営推進会議に参加、現在は会議資料を配布して情報共有をしている。市担当者とは日頃から相談や報告、行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図り、又地域包括支援センター運営の認知症カフェや地域ケア会議にも参加して地域連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	声掛け見守りを十分に行っている。また研修会にも参加したり、施設内でも勉強会に取り組んでいる。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず見守りをしたり、鈴の設置・見守りし易い居室への転室等の取り組みを行っている。運営推進会議の中で身体拘束廃止委員会の取り組みを毎回報告している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の理解を深めたり、意見交換を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者がおられる為、スタッフには説明を行い、勉強会も行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結、解約、改定等の説明を行い、不安や疑問を払拭するよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けている。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めている。又、面会時にも要望をおたずねしている。	家族とは面会・介護計画更新時・運営推進会議・意見箱等で意見を把握し申し送りノート他で情報共有をしている。現在はコロナ禍の面会自粛で家族と連絡をとり迅速な対応に努めている。三ヶ月毎に利用者毎の担当職員を交代させ、多様な視点から送る近況便りに家族から喜ばれている旨を面会時に頂いた経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させている。</p>	<p>適宜の法人代表者会議、毎月の事業所内フロア会議、毎日の申し送り、管理者との随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案やユニット目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案により感染対策で次亜塩素酸による空間除菌脱臭機、面会手段としてタブレット端末導入の例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は管理者、スタッフ代表と会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮している。施設内では2か月に1回勉強会をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の施設見学の際、管理者や職員が話を傾聴しながら、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に見学していただき、家族の不安、要望の把握し信頼関係が保たれるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とされる支援に対応するよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者の体調を考慮し、家事や作品作りに協力していただき、入居者、職員とも良い関係が築けるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>年2回の衣替え、消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、外出・外泊の支援もさせていただいている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っている。</p>	<p>「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にし、馴染みの美容院・実家での法事・結婚式参列等を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。現在はコロナ禍による面会制限下、オンラインでの面会、相談室で感染対策のもと、10分の予約制面会を実施した例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。作品を作ったり、レクを行い、楽しい時間を過ごして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者本人の要望、意向を家族と共に定期的に話し、支援の方法等を引き出していく。それを基にケアプランの見直しも検討している。	利用者毎に担当を決め、利用者の習慣や好み等の基本情報を基にその後はその方に深く関わりを持つことで思いを汲み取り、申し送りノートで共有をしている。三カ月毎に担当職員を交代させ、多様な視点でその方の生活を捉えて、全職員で情報を共有し、「当たり前前の生活作り」に向けた立案に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴やなじみの暮らし方など、本人との会話などから聞き出し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で心身の状態や身体機能の現状を把握するよう努めている。本人様のペースに合わせた生活を送って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティングや関係者への相談、家族から聞き取りながら、ケアマネを中心に担当スタッフと一緒にケアプランの作成を行っている。</p>	<p>利用者毎の担当職員の収集情報を基に計画作成担当者が立案し、適宜担当者会議で検討して面会時等に家族の同意を得て本案としている。半年を基本に担当職員・各ユニットでモニタリング、作成担当者が計画を見直している。又、協力医・薬剤師、訪問看護等の来訪時の医療連携情報も立案に繋げる様努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用し、スタッフ間での情報交換を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の要望の変更や追加に対応して、希望に近づけるよう、支援やサービスに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの受け入れや、地域の方の見学などに対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医としている。内科協力医から隔週毎の往診や協力歯科医と同様に適宜往診もある。専門医の受診も主に家族の協力を得ながら行なわれている。訪問看護から週1回の訪問や非常勤専従の看護職員の配置もあり、適切な医療を受けられるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行って、気付いた事は報告する体制をとり、異変時は往診か受診の判断をお願いしている。また24時間体制で連絡がとれるよう、緊急時の対応をしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員とソーシャルワーカーが連携をとりながら、介護サマリー、看護サマリーによる情報交換を行って、安全な生活が提供できるよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めている。	要望があれば看取りを行なう方針である。契約時に「看取りについての事前確認書」「重度化した場合の対応指針」で説明・了解を得ている。重度化した際には家族・医師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。まだ看取り事例はないが、医師の指示により医療機関へ移行するケースが多い。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用して、十分ではないが、実践力を身につけている。随時、施設内では勉強会の開催に努めている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めている。地震・津波・水害時の訓練の実施や避難経路マップを作成している。	消防署指導の下、年1回は夜間想定、利用者参加を含め、もう1回は隣接の子ども園と合同で避難訓練を実施している。ハザードマップでは非該当地域だが、各種の災害毎の避難経路・避難場所等を選定し、訓練を実施している。先の豪雨災害時には民生委員から安否確認もあり、又、減災対策の備蓄整備に努めている。	



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、施設内・施設外の研修、勉強会を受け、一人ひとり思いやりを持った声掛けを行っている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制をとっている。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への言葉かけも不適切な対応には指導や気づきを促すが、職員間で話しやすい雰囲気もあり、気づきはその場で即注意している。又、カルテ背表紙の利用者名もローマ字表記する等、個人情報に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中から希望を聞き出したり、日常生活の中で、働きかけたり、雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を優先する事もあるが、常に個人の想いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼している。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1回は誕生日会やイベントを開き、昼食をお楽しみメニューに変更したりしている。おやつには、既製品だけでなく、手作りのおやつを作るよう配慮している。	食事は外部業者から届いたレトルト食材を温め、職員の作るご飯と汁物を添えて提供している。事業所の畑で収穫した野菜が食卓に上ることもある。利用者は食卓拭き等、役割に応じた手伝いをしている。毎月の誕生日食や行事食は利用者の好みを反映させたり、移動パン屋や夏祭りの焼きそば作り等も行っている。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には、刻みやムース食へと随時変更し対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを実施している。必要に応じ、歯科医院より歯科衛生士の口腔ケアをお願いしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握するよう努め、トイレの誘導を心がけている。</p>	<p>その方の排泄パターンを把握したトイレ誘導を基本としている。退院時の紙おむつから紙パンツへの移行例や前方支持テーブルを設置し、それに寄りかかり腹部に力を入れ自力で排便し易くする環境整備を行っている。また薬剤師からの排泄用品の助言例等、状態像に合わせた排泄の自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相談しながら、便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。週2～3回の入浴援助を行っている。入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいている。</p>	<p>週2回の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて、好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の体の負担を考慮し、シャワー浴や足浴で対応することもある。据え置き式家庭浴槽が浴室の中央にあり、介助スペースも考慮した環境整備の他、同性介助を基本とした対応や冬至の柚子湯も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の体調を把握しながら、一 人ひとりの状況に応じて、安 心して休息や臥床が出来るよう 配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>一人ひとり処方される薬の説明 書は、ファイリングし、必要時 は確認している。個々にあった 服薬援助を行い、病状や副作用 の観察を行っている。薬剤師 の方と頻回に相談できる環境を 整えている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>張り合いや喜びを感じたり、気 分転換が図れるように、各個人 に合った役割を提供できるよう 支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>季節に合わせた行事を計画、実 施したり、家族の協力を得て、 ドライブに出掛けたり、状況 を見て戸外へ散歩できるように 努めている。</p>	<p>現在はコロナ禍で外出自粛中だ が、本来は隣接こども園のこ ども達との日常的な交流や買 い物・バンブー公園の花見・ 仏通寺の紅葉狩り・冬の神楽 見物等、季節の外出行事や公 民館の料理教室参加等、普段 は行けないような場所で「非 日常」を楽しんだり、家族と の墓参り・米寿の祝い等、個 別外出支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>入居者全員、預り金があり、事 務所で管理している。本人の 申し出があれば使用できる。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人が希望されれば、その都度対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは過ごしやすいように、物の配置など工夫している。季節感や生活感などを取り入れる事で、居心地良く過ごせるようにしている。</p>	<p>季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品や掃き出し窓から見える霧や雪景色で季節の移ろいが感じられ、白色・暖色に調節可能な照明器具の導入等で居心地の良い生活空間となっている。又、今般の感染症対策で次亜塩素酸による空間除菌脱臭機も活用し、換気等にも万全を期している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間は自由なスペースとして、利用者の思いのまま過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちになれるような空間になっている。</p>	<p>居室にはエアコン等が備え付けられ、ベッド・タンス・仏壇等、使い慣れた物や鏡台・絵手紙・編み物等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては導線確保のため物品の配置換えや夜間排泄時のポータブルトイレを設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの配置や、一人ひとりの居室の環境の整備等にて、安全・自立に配慮している。</p>		

V アウトカム項目( さくら ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所の行事等をお知らせし、ボランティアの慰問の願いを行い、交流を深めるよう努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	民生委員さんを通じ地域の方々へ発信していただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施設の状況を把握していただいている。		

自己評価	外部評価	項 目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	声掛け見守りを十分に行っている。また研修会にも参加したり、施設内でも勉強会に取り組んでいる。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の理解を深めたり、意見交換を行っています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者がおられる為、スタッフには説明を行い、勉強会も行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結、解約、改定等の説明を行い、不安や疑問を払拭するよう努めています。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けています。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めています。又、面会時にも要望をおたずねしている。		



自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は管理者、スタッフ代表と会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮しています。施設内では2か月に1回勉強会をしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達しています。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の施設見学の際、管理者や職員が話を傾聴しながら、関係を築いています。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に見学していただき、家族の不安、要望の把握し信頼関係が保たれるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とされる支援に対応するよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の体調を考慮し、家事や作品作りに協力していただき、入居者、職員とも良い関係が築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	年2回の衣替え、消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、外出・外泊の支援もさせていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っている。		

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。作品を作ったり、レクを行い、楽しい時間を過ごして頂いています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えています。</p>		
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者本人の要望、意向を家族と共に定期的に話し、支援の方法等を引き出していく。それを基にケアプランの見直しも検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>アセスメント情報交換を行い、生活歴やなじみの暮らし方など、本人との会話などから聞き出し、把握に努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日常生活の中で心身の状態や身体機能の現状を把握するよう努めている。本人様のペースに合わせた生活を送って頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティングや関係者への相談、家族から聞き取りながら、ケアマネを中心に担当スタッフと一緒にケアプランの作成を行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用し、スタッフ間での情報交換を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族の要望の変更や追加に対応して、希望に近づけるよう、支援やサービスに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの受け入れや、地域の方の見学などに対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃から状態観察を行って、気付いた事は報告する体制をとり、異変時は往診か受診の判断をお願いしています。また24時間体制で連絡がとれるよう、緊急時の対応をしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>職員とソーシャルワーカーが連携をとりながら、介護サマリー、看護サマリーによる情報交換を行って、安全な生活が提供できるよう努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AED研修や救急マニュアルを活用して、十分ではないが、実践力を身につけている。随時、施設内では勉強会の開催に努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めている。地震・津波・水害時の訓練の実施や避難経路マップを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、施設内・施設外の研修、勉強会などを受け、一人ひとり思いやりを持った声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中から希望を聞き出したり、日常生活の中で、働きかけたり、雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を優先する事もあるが、常に個人の想いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼しています。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1回は誕生日会やイベントを開き、昼食をお楽しみメニューに変更したりしています。おやつには、既製品だけでなく、手作りのおやつを作るよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には、刻みやムース食へと随時変更し対応しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを実施しています。必要に応じ、歯科医院より歯科衛生士の口腔ケアをお願いしています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握するよう努め、トイレの誘導を心がけています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相談しながら、便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。週2～3回の入浴援助を行っています。入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の体調を把握しながら、一 人ひとりの状況に応じて、安心 して休息や臥床が出来るよう配 慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>一人ひとり処方される薬の説明 書は、ファイリングし、必要時 は確認している。個々にあった 服薬援助を行い、病状や副作用 の観察を行っています。薬剤師 の方と頻回に相談できる環境を 整えています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>張り合いや喜びを感じたり、気 分転換が図れるように、各個人 に合った役割を提供できるよう 支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>季節に合わせた行事を計画、実 施したり、家族の協力を得て、 ドライブに出掛けたり、状況 を見て戸外へ散歩できるよう 努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入居者全員、預り金があり、事 務所で管理している。本人の申 し出があれば使用できる。</p>		



自己評価	外部評価	項目( すずらん )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人が希望されれば、その都度対応しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは過ごしやすいように、物の配置など工夫している。季節感や生活感などを取り入れる事で、居心地良く過ごせるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間は自由なスペースとして、利用者の思いのまま過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちになれるような空間になっています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの配置や、一人ひとりの居室の環境の整備等にて、安全・自立に配慮している。</p>		

V アウトカム項目( すずらん ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 あやめが丘グループホーム

作成日 令和3年5月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	基本理念に基づいた考え方の見直し	基本理念の共有	スタッフ全員個人目標を立てる	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。